

ある精肉店のはなし



家族4人の息の合った手わざで牛が捌かれていく。
牛と人の体温が混ざり合う屠場は熱気に満ちていたー。

大阪府貝塚市で行われた屠畜見学会。屠場で捌かれた肉は、丁寧に切り分けられ店頭並び、皮は丹念になめされ、立派なだんじり太鼓へ姿を変えていきます。

大阪府貝塚市にある北出精肉店は、牛の飼育、屠畜、精肉までを行っています。4世代の家族が集う食卓はいつもにぎやかですが、家業を継ぎ7代目となる兄弟の心にあるのは、被差別部落ゆえのいわれなき差別を受けてきた父の姿でした。差別のない社会にしたいと地域の仲間とともに部落解放運動に参加するなかで、いつしか自分たちの意識も、地域や家族も変わり、そして、北出精肉店の屠畜場は、2012年3月に最後の屠畜を終え、102年の歴史に幕を下ろしました。

これは、生まれ出た場所で自分が自分として生きることを考え抜き、しなやかに生きてきた家族の物語であり、「いのちを食べて人は生きる」という「生」の本質を見続けてきた家族の記録です。家族たちがナイフ1本で美しく牛を捌いていく姿は圧巻です。前作「祝の島」で鮮烈なデビューを飾った額額あや監督がメガホンを取りました。移り行く時代の中で消えかかっている人々の営みを映像に撮り続ける彼女が見つめ、捉え、丁寧に描いたドキュメンタリー映画です。ぜひご来場ください。

※映画上映前に、ココロ隊（熊本県人権啓発キャラクター）の楽しいステージパフォーマンスがあります。

2022年11月22日(火) 19:00 開演 (18:45 開場)

会場：益城町交流情報センター ミナテラス ※入場無料。

お電話、窓口または右の二次元バーコードからお申し込みください。
※応募者多数の場合は抽選となります(定員40名)。抽選結果は後日
お電話かメールでお知らせします。

